



どんな学校？

課程：全日制 普通科

「夢をカタチに…

クリエイティブスクールで学び直そう！」

本校は、平成21年にクリエイティブスクールとしてスタートしました。クリエイティブスクールとは、中学校までに自分の力を十分に発揮できなかった生徒を積極的に受け入れ、応援して、「基礎学力」や「社会実践力」を育成し、一人ひとりの未来を創造する学校です。入学者選抜では学力検査を行わず、特色検査（面接・自己表現検査）で選抜し、生徒のやる気と頑張りを応援します。



どんなメンバー？

学校 釜利谷協議会
(学校運営協議会)

地域 学校運営協議会委員



どんな団体？

～釜利谷協議会が大切にしていること～

- 1 学校と委員が熟議を重ねて、育てたい生徒像を両者で共有する
- 2 特色ある取組を部会で担当する
- 3 学校教育目標に沿った活動を意識する
- 4 教職員の異動に関わらず支援が切れ目なく届くよう、当初の姿勢を継続する
- 5 委員は学校を理解し、教職員と熟議を重ね、支援する



はじめたきっかけは？

「もう一度勉強をやり直したい」という生徒を、教職員だけでなく、学校関係者や地域住民、有識者が協力して応援するために、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の全校導入に先駆け、本校独自に「釜利谷協議会」として設置しました。

まず、学校と釜利谷協議会で生徒たちの状況や課題を把握し、学校の教育方針（学校教育目標）を拠り所にしながら、6つの部会を設置しました。その際、部会がよりよい活動を展開できるよう、教職員が学校運営のために設置している校務のグループを紐づけて運営することとしました。

- ・SSE部会…生活安全指導
(Social Skills Education)
- ・キャリア部会…キャリアガイダンス
- ・学力向上部会…カリキュラム開発
- ・学校評価部会…管理運営
- ・地域協働部会…特色地域連携
- ・SLS部会…生徒活動支援
(School Life Supporter)

※SSE部会

SSEとは、コミュニケーション能力や社会性を身に付けるためのプログラムです。

この部会は、社会生活における協働の意識を高めることを目的とし、SSEの研究と実践の第一人者で、かつ協議会委員でもある有識者の先生が中心となって運営しています。また、教職員向けの研修も実施し、委員と教職員が一体となって生徒を支援しています。

神奈川県教育委員会教育局指導部
高校教育課高校教育企画グループ

この冊子はホームページにも記載しています →



すくコミ!

～コミュニティ・スクール事例集～



学校名

釜利谷高等学校

活動名

生徒がのびる!
学校運営協議会
～釜利谷協議会～

取組紹介

取組内容

内容	
1	釜利谷協議会の設立 SSEに精通する有識者の招聘
2	部会の取組内容の検討
3	取組の実施(SSE部会)
4	成果と今後の展望



1 HOP

設立時より

学校の特徴

- ・「分かる授業」の展開
学習意欲を高める
 - ・進路への意識を高める
 - ・自らの生活を考える意識を高める
 - ・協働の意識を高める
- これらに協力してくださる有識者の先生を探し、連携を打診し、6つの部会から構成される、本校独自の「釜利谷協議会」を設立した。

2 STEP

平成21年～

生徒の状況と課題の把握を、学校と委員が共に行う。

- ・高校生活に目的意識を持っていないままに入学
- ・基礎学力が不十分

⇒学習に対する意欲を失うと、仮説を立てた。

そこで、ソーシャルスキルエデュケーション(SSE)を導入し、SSE第一人者でもある委員の指導のもと、教職員対象のSSE研修を実施した。

その成果として、生徒の普段の授業や学校生活に活かされ、怒りやストレスのコントロール能力が高まるとともに、自己肯定感の向上や人間関係づくりに自信を持つ生徒が増加した。

3 JUMP

2023年9月

SSE部会では「育てる力」を次の3つに整理。

- ・自分をコントロールする力
 - ・人とかかわる力
 - ・トラブルに対処する力
- また各学年でテーマを設定して、3年間、継続して実施している。

- ・1学年 他者理解
- ・2学年 自己統制
- ・3学年 自己理解

<事例>
1年生では、「親近感」を「親しみセンサー」として捉え、どんな場面で親しみを感じるかについて考える。

個人で考えた後、グループワークで発表し、自分の感覚が他者とどれだけ異なるか、などについて話し合う。
このような取り組みを3年間展開し、3つの力を育成していく。



FUTURE クリエイティブスクール開校から継続している取組の成果で、生徒がこんなに変わりました!

4

- ・自分の意思で行動できるようになった
- ・通学をあきらめる生徒が減少した
- ・地域の方から褒めていただくことが増えた
- ・入学して学力を伸ばし、自分に自信を持つようになった

学校運営協議会の委員の方からの助言や励ましの言葉を教職員が共有し、学校経営に活かすことができた。

生徒の感想

私は、中学時代ほとんど学校に行っていませんでしたが、釜利谷高校の存在を知り、学力や出席日数が足りなくても、受検できるとわかり、入学を希望しました。入学後は、コツコツと頑張って勉強し、好成績を維持しています。小中学校での基礎知識が不足していても「ここまで学び直しができるんだ」と実感しています。

地域の感想

学校運営協議会は、「学校の応援団」です。どんな時も学校の味方であり、良いところを褒め課題があれば一緒に考えます。教職員と委員が互いに尊重し、生徒のために協力します。生徒を取り巻く環境は様々であり、課題を抱えた生徒がいるのが現状です。今後も、焦らず、温かい心で、生徒を支援していきます。

先生の思い

本校に入学する生徒を地域と共に育てたい!!